

会議の要旨（議事録）

会議の名称	平成29年度第1回 鳥栖市文化財保護審議会		
開催日時	平成29年5月31日（水） 午後1時30分	開催場所	鳥栖市役所2階第1会議室
出席者数	委員 7名 事務局 5名	傍聴人数	2人
議題	1. 平成28年度事業報告 2. 平成29年度事業計画 3. 現地視察		
配布資料	平成29年度第1回 鳥栖市文化財保護審議会資料		
所管課	（課名）生涯学習課 （電話番号）85-3695		

1. 教育長あいさつ

2. 議題

(1)平成28年度事業報告

〈資料P1～6により事務局より説明〉

○埋蔵文化財調査について

委員 本調査に移行するようなものはなかったか。

事務局 個人住宅については、遺構に影響を及ぼさないために慎重工事を指示。遺構の有無のための確認調査については、開発計画が具体的になったところで文化財保護法に基づく届出の提出を指導。そののちに協議を行う。

委員 四ツ木遺跡や藤木遺跡で確認された溝の図面などは記録しているか。

事務局 遺構の有無を確認し、掘下げてはいない。確認調査の際には、近隣の調査を参照し、遺構の継続性を見ながらトレンチの場所を決めている。

委員 藤木に確認調査が集中しているようだが、集落が大きく変わるといったことはないか。

事務局 個人住宅の建て替えが偶然に隣接していたと思われる。

○鳥栖駅舎について

委員 建築調査の報告書は製本しないのか。

事務局 当初は、製本はしないとしていたが、予算を見ながら検討したい。

- 委員 新聞での報道によれば、駅舎の保存については現地保存が困難とされている。保存についての検討がこれから行われるのか。
- 事務局 昨年、提言の中で示された4つの保存方法のうち、現地保存は困難とされたので、今後はそれ以外の方法で検討することになる。また、駅舎の所有権はJR九州にあり、規模や費用、場所など不確定なことが多く、いくつかのパターンで検討を進めたいと考えている。
- 委員 保存や活用は今後、どの部署で検討することになるのか。
- 事務局 活用については生涯学習課で行う。
- 委員 そうであれば、なおさら調査報告をきちんと製本した形で残しておくべき。今後の検討にも報告書が必要となる。
- 会長 鳥栖駅ができることによって鳥栖駅周辺だけではなく、鳥栖市全域に産業クラスターが形成されていく。そのようなことが『鳥栖市誌』では十分ではないので、総合的にまとめた形での鳥栖駅史的なまとめが必要ではないか。

(2)平成 29 年度事業報告

〈資料P7～8により事務局より説明〉

- 委員 安良川右岸に大規模な開発が行われるという情報を得た。隣接する八軒屋集落については、民俗調査を行うなどしておいたほうがよいのではないか。
- 今ある道、溝、地割が遺跡であり、現状を記録しておく必要がある。市内全般にいえるが、残存していた中世村落、近世村落の様相が意識されずに、どんどん開発されているのが現状。
- 民俗調査はまつりだけではなく、正月行事や日々の暮らしの中で行われること、それぞれの畑に植えられている作物についても行ってほしい。
- 事務局 対象地は、周知の埋蔵文化財包蔵地ではないが、2年ほどかけて試掘調査を実施し、遺構は確認していない。
- 担当課の商工振興課とは連絡を密にしているが、対象範囲については、再度確認する。

3. その他

〈事務局より〉

- ①鳥栖駅周辺整備事業に伴う鳥栖駅舎の取扱いについて報告。
- ②文化財保護審議会委員の任期が9月30日までなので、継続を依頼。

○鳥栖駅舎について

- 委員 鳥栖駅舎の保存活用案を審議会で検討するような機会は設けてもらえるのか。
- 事務局 一定の考え方がまとまった時点で、委員会の意見をうかがう機会を設けたいと考えている。庁内においても、保存・活用の考え方を示しながら、進めていきたい。
- 委員 ・鳥栖駅舎についてPR不足である。
・鳥栖駅舎の価値を周知するためにも、報告書の刊行や一般向けの簡易版を作成してほしい。

○委員について

- 委員 鳥栖市域のまちの形成には、根底に鉄道や長崎街道、奈良時代の官道があり、それに

よって、性格づけられてきた。このことから、交通史の分野で委員がいればよい。

○明治維新 150 年事業について

委員 幕末維新博覧会について、教育委員会としてどのように取り組むのか。

事務局 県が主導する事業で、市にも問い合わせがあるが、具体的には決まっていない。

委員 歴史的な要素を含む記念事業だと思うので、教育委員会が主導するぐらいの気構えで取り組んでほしい。

委員 市でも行うのか。また、市独自に事業を行うことはあるのか。

事務局 ・県の事業であり、具体的な情報は知らされていない。

・市独自ではない。

○文化資源の充実事業について

委員 ・文化資源の充実事業について、鳥栖市誌編纂事業終了後に取り上げられなかった事象や新たな事柄について調査を継続することは有意義だ。

・対馬の資料や地方文書の分析も進めてほしい。

この後、くすり博物館で開催されている「田代売薬」を視察。

(終了)